



民主主義ってどうなるの？



日程

2024年10月11日（金）18:30～20:30

受講
形態

対面

東千田キャンパス総合校舎L棟5階地域連携フロアSENDA LAB
※公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。

オンライン

ZOOM

対象

どなたでも（高校生、大学生も歓迎！）

定員

（対面）40人 （オンライン）100人（申込先着順）

プログラム

受講料
無料

■自民党総裁選2024 法学部長 永山 博之

9月に行われた自民党総裁選は、候補者9人が乱立する状況で、決選投票によって、石破茂氏が自民党総裁に選ばれました。この総裁選を振り返ることで、自民党が変わっているのか、それとも変わっていないのかという問題について考えます。

■投票参加の実態とその特徴 法学部 助教 重村 壮平

日本の選挙において、誰が参加し、誰が棄権しているのでしょうか。また、参加者と棄権者は、政治に対して異なる考え方を持っているのでしょうか。これらの論点について、データを用いて、考察したいと思います。

■地方政治ってこれからどうなるの？ 法学部 准教授 小林 悠太

2024年は、地方政治に大きな注目が集まった一年となりました。「共産対非共産」の構図が崩れかけるも回帰した京都市長選、不適切発言で辞任した川勝平太知事の後釜をめぐる静岡県知事選挙、小池対蓮舫という構図が優勢と見られた中で「石丸旋風」が吹き荒れた東京都知事選、そして兵庫県議会による百条委員会設置を受けた「出直し選挙」。地方政治に大きな地殻変動が生じる中で、二元代表制と地方政治のこれからを考えていきます。

■ネットと選挙報道 広島テレビ解説委員 長島 清隆

SNSの発達により、候補者本人だけでなく一般の人々も選挙情報を発信しやすくなりました。広く情報が伝わるのは利点ですが、誹謗中傷が拡散されたり、既存メディアの情報を加工した偽情報が拡散される恐れもあります。ネット時代にメディアは選挙報道をどのように伝えていくべきなのか、有権者はネット情報にどのように向き合うべきなのかという問題について考えます。

■ディスカッション（19:35～20:30）

講師4人によるフリーディスカッション

※受講者からご質問・ご意見をいただきながら、進めていきます。

申込方法

締切：10月9日（水）

会場マップ

総合校舎L棟5階

申込フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/eebsnTQZwWsaz6757>



お問い合わせ先

広島大学東千田地区支援室

082-542-7014

